

令和4年度 学校教育アンケートのまとめについて

早春の候、保護者の皆さまにはお元気でお過ごしのことと存じます。平素は本校教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、先月、学校教育アンケートを実施し、468通のご回答をいただきました。ご回答いただきました保護者のみなさまのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

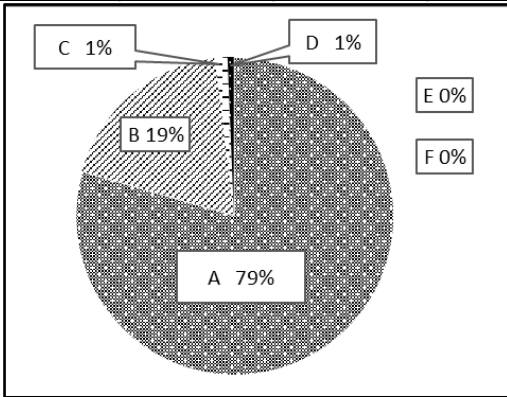
つきましては、アンケートの集計が整いましたので、結果をお知らせいたします。今回のアンケート結果を真摯に受け止め、来年度の本校の取組みにいかしてまいりたいと考えております。今後も、学校教育や児童の指導等でお気づきの点がございましたら、学校までお知らせいただけますと幸いです。ご理解ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

集計結果は、以下のよう示しております。

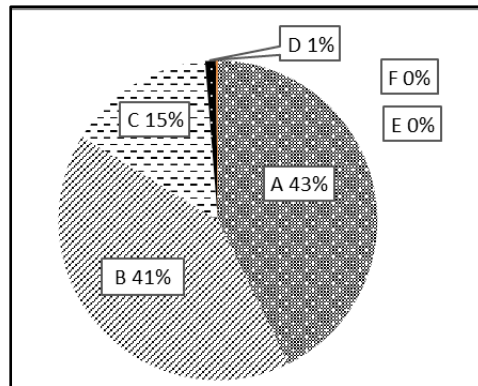
A.: と思う B.: だいたいと思う C.: あまりそう思わない D.: そう思わない E.: わからない F.: 無回答

(1) 家庭教育に関すること

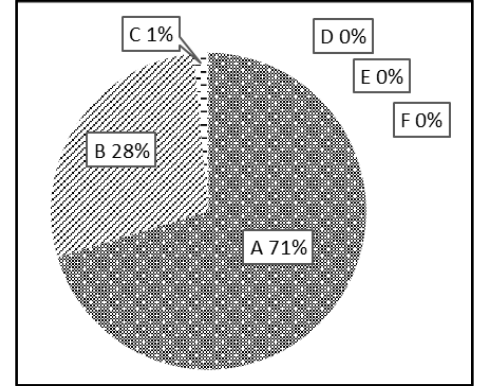
1. 子どもに家庭や近所であいさつをするように教えている。



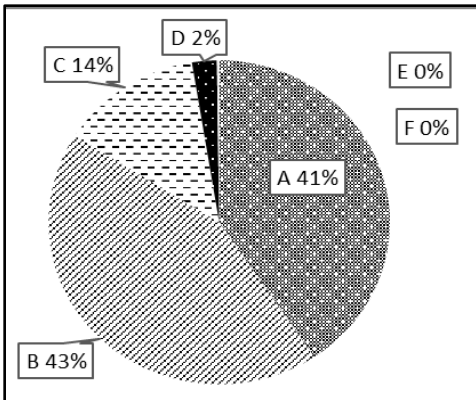
2. 子どもに家庭学習の習慣をつけさせている。



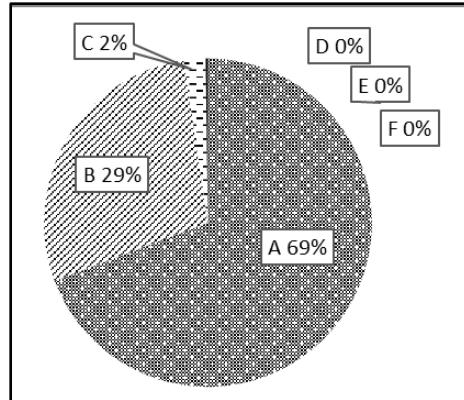
3. 家庭では、子どもとの会話を大切にしている。



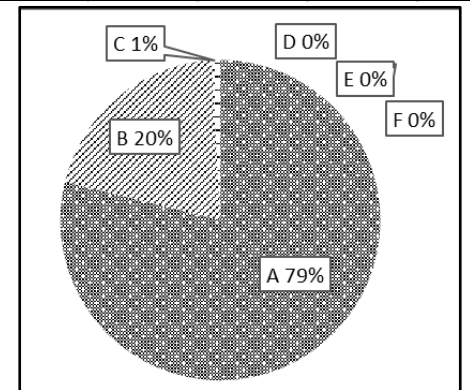
4. 家庭では、子どもにお手伝いをさせている。



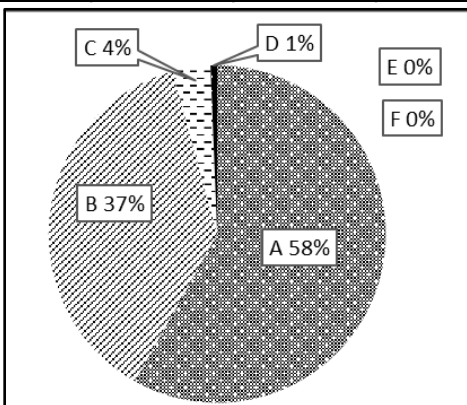
5. 家庭では、子どもに生命を大切にする心を育てようとしている。



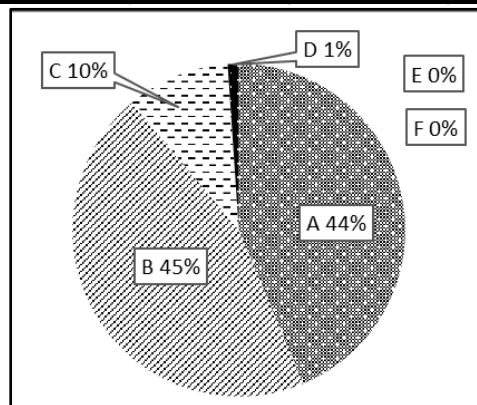
6. 家庭では、子どもに自分や友だちを大切にする心を育てようとしている。



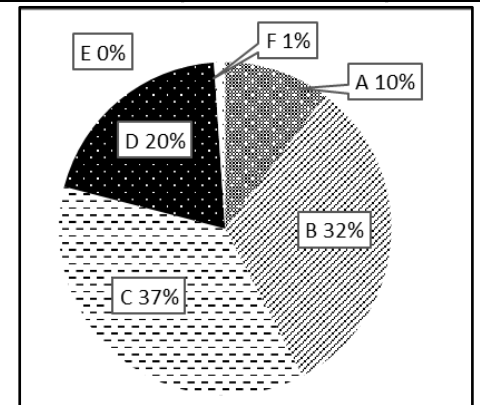
7. 家庭では、子どもに社会のルールを年齢に応じて教えている。



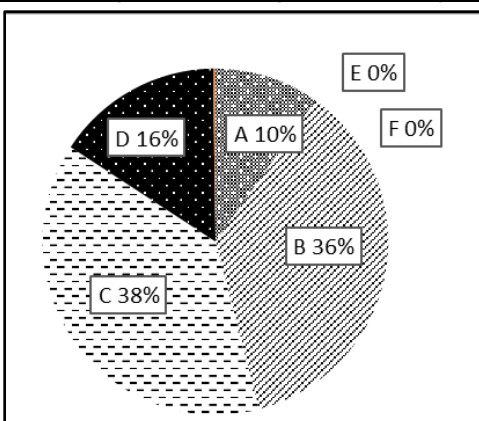
8. 学校からの文書や事務連絡などをよく読んでいます。



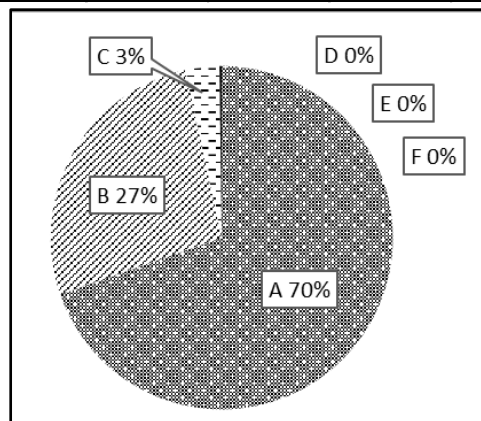
9. PTA活動に積極的に参加している。



10. 他の保護者の方々と話をする機会を多くもっている。



11. 家庭では食事・歯磨き・睡眠などの生活習慣を身につけさせている。



●家庭教育についてのアンケート結果より●

ほとんどの項目において、肯定的な回答が約90%と高い割合を示していました。特に、『1. あいさつ』や『6. 自分や友だちを大切にすること』『11. 生活習慣』については、肯定的な割合が高く、各ご家庭において、お子さまに適切な関わりをされていることがうかがえます。ありがとうございます。

しかしながら、お子さまに関する以下の2項目については、肯定的回答が若干低く、「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答が約10%となっているものです。これらの事柄について、学校だけでなく各ご家庭においても、その大切さを子どもたちに伝えていただきたいと感じております。よろしくお願いいたします。

▲『2. 家庭学習の習慣』…「あまりそう思わない」「そう思わない」16%

昨年度から継続している課題です。全国学力・学習状況調査のアンケートからも、家庭学習の時間が短いことが明らかになっています。時間の使い方についてお子さまと話し合うなど、時間を決めて家庭学習に取り組めるよう、ご支援をよろしくお願いいたします。配付しております「家庭学習の手引き」も参考にしてください。また、自分から進んで取り組めた時や宿題以外の学習に取り組めた時などは、できてあたり前ではなく、できたことをしっかりとほめてあげてください。

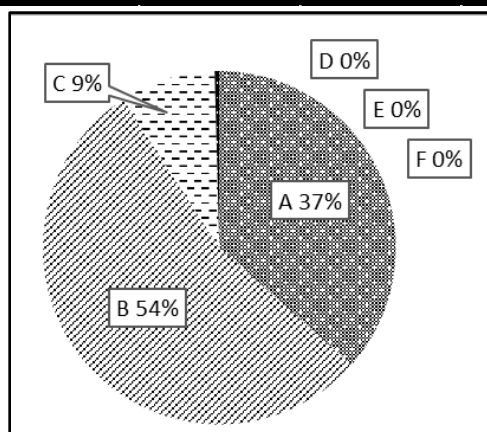
▲『4. お手伝い』…「あまりそう思わない」「そう思わない」16%

昨年度から継続している課題です。家族でも学校でも、働くことや人の役に立つことの大切さを伝えていきたいものです。言われなくても、自分から進んで取り組める人になってほしいものです。子どもたちが継続して取り組めるようなお手伝いの機会を作ってあげてください。

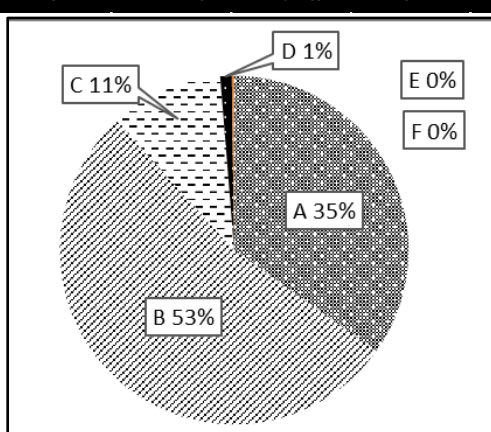
その他、『9. PTA活動』については、昨年度より引き続き肯定的回答が約50%となっています。今後も、誰もが参加しやすく、保護者の方々の交流につながるような活動を検討してまいりますので、長野小学校の子どもたちのためにご協力をよろしくお願いいたします。

(2) 学校教育に関すること

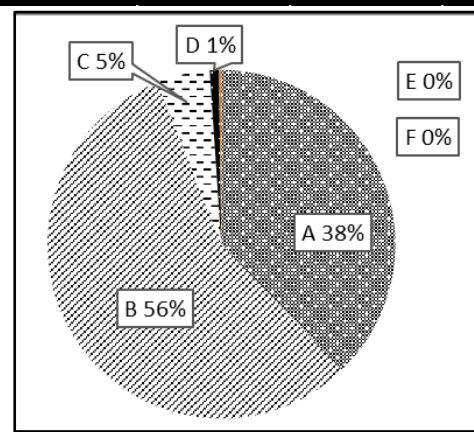
1. 学校は、保護者・地域との連携を大切にしている。



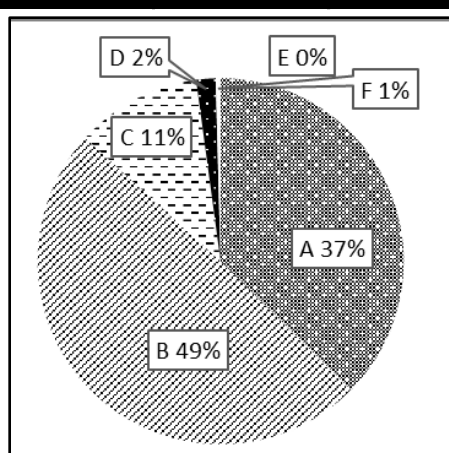
2. 学校は、教育活動や学校での子どもの様子について伝えている。



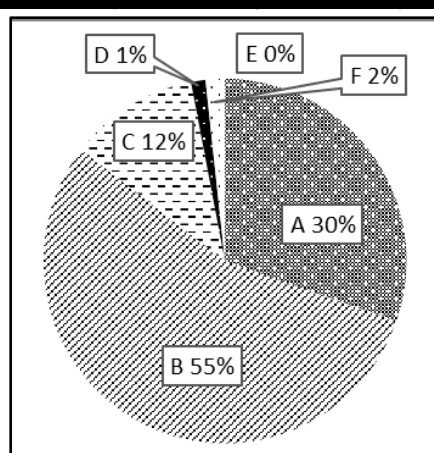
3. 学校は、子どもの能力や努力を適切に評価している。



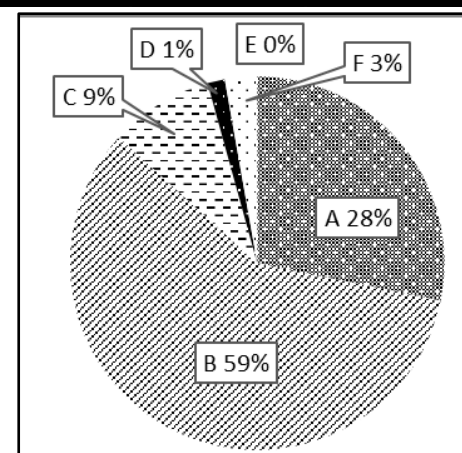
4. 学校に、子どものことについての相談ができる。



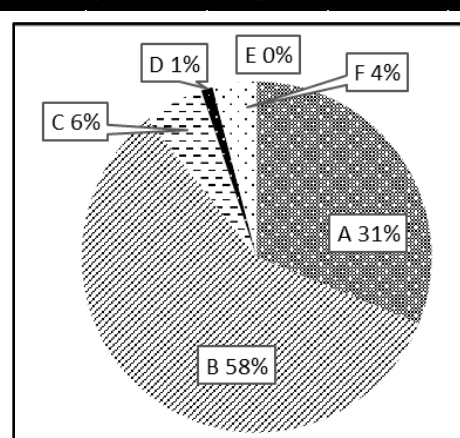
5. 学校は、子どもの不正な言動には厳しく指導している。



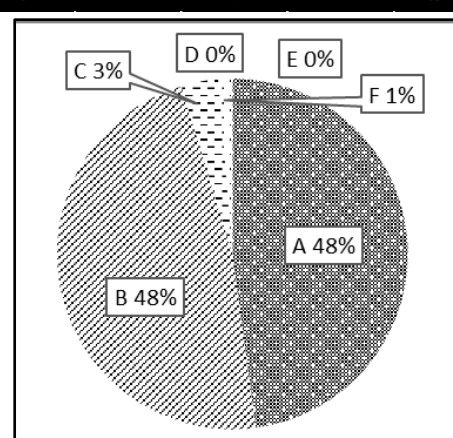
6. 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。



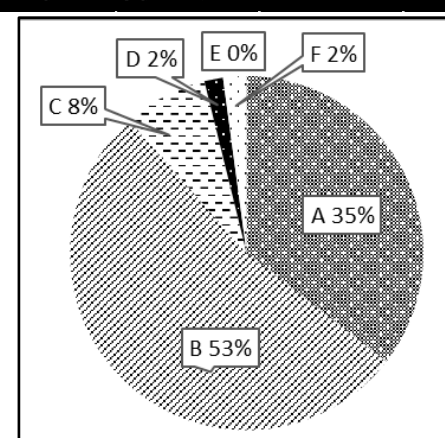
7. 学校は、学年に応じて、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。



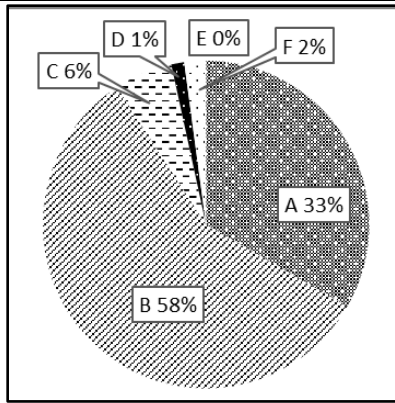
8. 学校は、地震・火災・台風・不審者などに対する危機管理を適切に行っている。



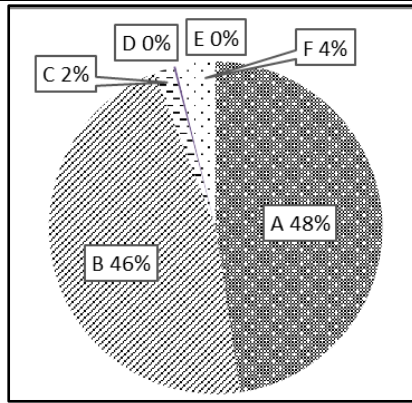
9. 学校は、登下校時の安全についての指導をしている。



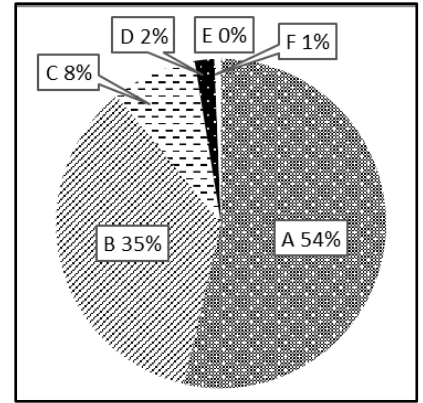
10. 学校は、食事の重要性や食文化など食に関する指導に取り組んでいる。



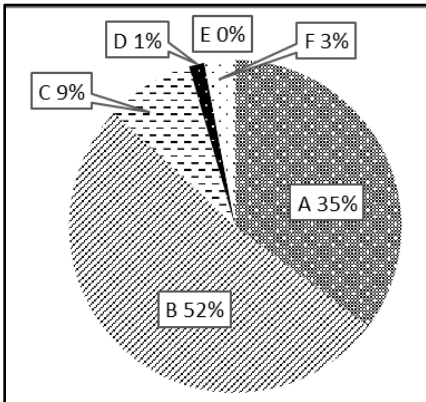
11. 学校は、児童の個人情報を適切に管理している。



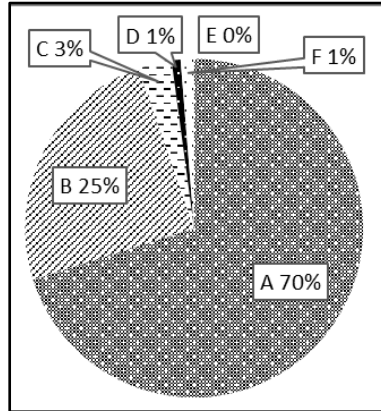
12. 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。



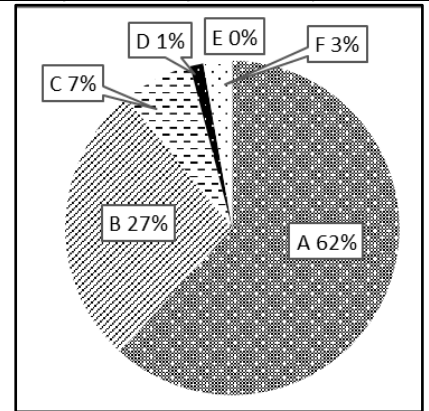
13. 子どもは、授業がわかりやすいと言っている。



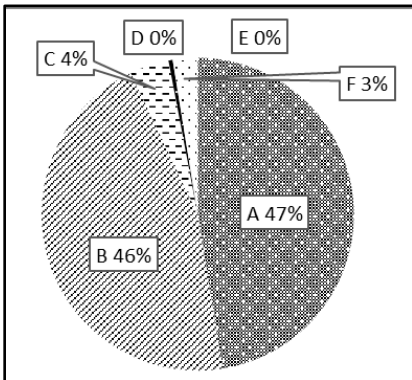
14. 子どもは、運動会などの学校の行事に、楽しく参加している。



15. 子どもは、児童会活動（長小オリンピックなど）を楽しみにしている。



16. 学校は、子どもたちが健康で安全な生活を送れるよう、保健教育・保健管理に適切に取り組んでいる。



お忙しい中、アンケートに丁寧にご回答いただき、ありがとうございました。自由記述欄にも、多くのご意見をいただきました。アンケート結果及びいただいたご意見を謙虚に受け止め、来年度も「だれもが元気になるみんなの学校」をめざし、教職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも、長野小学校の子どもたちのために、どうぞよろしくお願いいたします。



●学校教育についてのアンケート結果より●

全項目について、肯定的な回答が多く、学校での取組みにご理解をいただいていることに感謝申し上げます。肯定的な回答が多かった項目、昨年度より肯定的な回答が増加した項目、課題が見られた項目は、以下のようになっています。

○『1. 学校・保護者・地域との連携』・・・R3:87% → R4:91% 『2. 子どもの様子を伝えている』・・・R3:82% → R4:88%

授業参観や地域行事など、学校・保護者・地域が連携して行う行事が少しずつできるようになり、保護者のみなさまが来校される機会が増えたことが要因だと考えられます。今後も、引き続き「長小だより」「学年だより」「ホームページ」等で、学校の様子や取組みを発信してまいりますので、保護者のみなさまにおかれましても、学校からの文書等をしていねいにお読みいただき、本校教育活動にご参画いただければと思います。

○『6. いじめのない学校づくり』・・・R3:83% → R4:87% 『7. 人権を尊重する意識』・・・R3:87% → R4:89%

学年や学級での仲間づくりや道徳・人権の授業など、一人ひとりを大切にされた取組みを継続している成果だと思われます。今後も、人権教育を基盤として、誰もが安心できる居場所づくりに努めます。

▲『4. 子どものことについての相談できる』・・・「あまりそう思わない」「そう思わない」13%
『5. 不正な言動には厳しく指導している』・・・「あまりそう思わない」「そう思わない」13%

お子さまのことについてお伝えすべき内容や伝え方が不十分であり、安心して相談し解決につながるような対応ができなかった結果だと受け止めています。教職員が保護者のみなさまのお気持ちに共感し、ていねいな対応を心がけ、いつでも相談いただけるような関係づくりに努めます。お子さまの相談は、担任以外にも、学年主任や養護教諭、生徒指導担当など、相談できる教職員は複数おりますので、いつでも遠慮なく、ご相談ください。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、専門的な方への相談もできますので、お知りおきください。

▲『12. 学校へ行くのを楽しみにしている』・・・「あまりそう思わない」「そう思わない」10%
『13. 授業がわかりやすい』・・・「あまりそう思わない」「そう思わない」10%

昨年度に引き続き課題となっており、「学校へ行くことが不安」「授業がわからない」と感じている子どもたちへの支援が十分できていない結果だと受け止めています。すべての教職員が、一人ひとりの子どもたちの困り感に気づき、子どもたちの心に寄り添うことができるよう努めてまいります。また、「楽しい授業」「わかる授業」をめざし、出会いや体験を取り入れた学習や探究的な学習など、楽しく主体的に取り組める活動を多く取り入れ、子どもたちが新しい発見や達成感が味わえるよう努めます。さらに、1人1台端末の効果的な活用や基礎基本の定着、対話的な学習など、子どもたちが「できた」「わかった」と感じるような授業を行います。